



石川県 羽咋市

姉妹都市

ふるまはくい

(仮称)羽咋駅周辺賑わい交流拠点イメージ(夜)



(仮称)羽咋駅周辺賑わい交流拠点 官民連携事業者を決定

羽咋市では、JR 羽咋駅西口の商業施設跡地について「羽咋の未来をともし、集い、ふれあう、賑わい拠点づくり」を基本コンセプトに、全ての世代が集い触れ合う場として、「(仮称)羽咋駅周辺賑わい交流拠点」の整備を進めています。

官民連携事業者からは、カフェと一体となった図書・学習空間や、子どもも大人も楽しめる「屋内公園」などを整備する提案がありました。また、民間商業施設部分では、事前に顔と決済手段を登録することで、手ぶらで買い物できる計画としています。

この施設は、令和6年夏に開業予定です。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～

【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

No.71

本郷道中郷にはかつての鎌倉街道が通っていて、その鎌倉街道沿いに市指定重要文化財の「葵八幡の板碑」があります。板碑は2基が一对のものと考えられ、八幡宮の社に向かって左の板碑には阿弥陀如来像が彫られ、その下には追善のための偈文(韻文形式の仏徳を賛嘆した文章)が刻まれています。右の板碑には阿弥陀如来の梵字の下に勢至菩薩と観世音菩薩の梵字が、いずれも蓮華座に乗って表現されています。板碑は供養塔の一種で板石卒塔婆とも呼ばれます。

この社は、平安時代末期の源氏の武将であった木曾義仲の側室で、義仲とともに戦ったとされる葵御前をまつり建てられたといわれ、葵御前の最期にまつわる伝説が残されています。

倶利伽羅峠の戦いで平氏に見事に大勝した義仲でしたが、同じ源氏の源頼朝らによって討伐されてしまいました。主人を亡くした葵御前は追っ手を逃れて、上州の多胡庄の一族のところ

へ隠れようとして落ち延びてきましたが、ここで乗ってきた牛が石につまずき前足を折って倒れてしまいました。その上、抱いてきた子がかかになり、熱がひどく逃げ続けられませんでした。仕方なく小川の石橋の下に隠れて、土地の豪族中里弾正に助けを求めましたが、追っ手に見つかり殺され、切り刻まれて畑にさらされました。

人々は葵御前を気の毒に思い、そこに社を建て、板碑を立てて供養しました。そしてこの地域では大根の切り干しなどは決して作らないことにしたといわれています。



八幡宮と葵八幡の板碑(市指定重要文化財)

あおいちまん いたび 葵八幡の板碑 ～葵御前の伝説～

教えて! 消費生活

アナログ回線への切り替え勧誘に注意!

Q 大手通信会社を名乗る業者から「光回線をアナログ回線に戻すと月々の料金が安くなる」と電話があった。変更を考えていたのですが、その後毎月サポート料金として3,000円が引き落とされていた。確認すると2年縛りでサポート契約をしているとのことで、解約するとキャンセル料が発生すると言われたがどうしたら良いか。

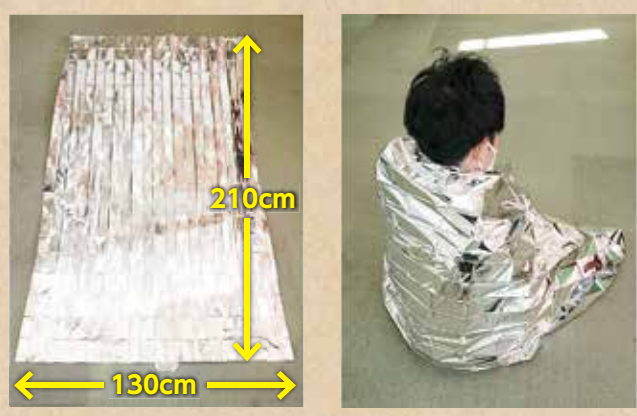
A 大手通信会社と名乗っていても、実際は関係のない業者が勧誘しているケースがみられます。知らないうちに、回線の切り替えには全く必要のない生活サポートなどの契約になっていることもあります。回線切り替えの勧誘を受けた際には、費用やサービス内容、解約条件などをよく確認し、必要ないと思ったらきっぱり断りましょう。

光回線契約をアナログ回線に戻す手続きは第三者に依頼する必要はなく、消費者自身で大手通信会社に申し込むことができるので問い合わせてください。訪問販売や電話勧誘販売で契約した場合は、一定期間であればクーリングオフができるので消費生活センターに相談してください。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時

いまからできる! 日常防災 Everyday disaster prevention

寒さから身を守る「アルミブランケット」



冬季に災害が発生した時の防災グッズの備えは済んでいますか。冬の災害では寒さ対策が必須です。寒さによって体温が低下することで、体力や免疫力の低下につながってしまいます。今回は寒さ対策の一つとして、「アルミブランケット」を紹介합니다。アルミブランケットは、コンパクトで場所を取らずに保管できるうえ、安価で手に入れられるので防寒対策にお勧めです。

災害時に自分や大切な家族を守るのは知識と備えです。防災は日常に転がっており、生活と密接につながっています。防災を難しく考えず、簡単な日常の行動と結び付けて取り組んでいきませんか。

「アルミブランケット」とはアルミブランケットとは、アルミニウムなどの極薄素材で作られた防寒・防風用のシートです。価格帯も100円～1,000円程度と比較的安く、インターネットやホームセンター、さらには100円ショップでも購入することができるため、欲しいと思ったときにすぐ買うことができます。左写真のように縦210cm×横130cmのサイズで成人男性約1人分が使用できる大きさとなります。

使用方法・効果
体を包み込むように羽織ることで、自分自身の体温を逃さず、効果的に保温することができます。使い終わったら小さく折り畳むことで再利用することができるため、経済的にも優しいです。



折り畳むとボールペンサイズになります